

木造住宅を取り巻く環境は、変化を続けています。そのような変化の中で、木造住宅の造り手としてどのような姿勢を維持してゆけばよいのか、そんな疑問の答えを見つけたいと思って、1998年に大工塾を始めました。2011年までに8回の大工塾が開催されて、164人の塾生が各地で活躍しています。大工塾が目指すことは、住み手と造り手の創造性を生かした木造住宅を造ること、それを長く維持してゆくこと、その両方を実現できるような造り手の連携（パートナーシップ）を確立すること、この三つです。そのような連携が、住みよい住宅を提供し維持してゆく基礎だと考えています。木造住宅は技術だけでは、造ることも維持してゆくこともできません。住宅の住み手、造り手（職人集団・設計集団）、さらには林業の担い手、等々が一体で動く仕組みが必要です。

そんな大工塾の考え方を広く知ってもらおう試みとして、2011年11月～2012年2月に九州大工塾を開催しました。多くの人に参加していただいて、みんなの意思で継続することが決まりました。

2012年7月から12月まで全6回の「九州大工塾2012」を九州職業能力開発大学校との共催で開催します。

北九州市の九州職業能力開発大学校の実験施設を使用して、大工塾と同じ実大試験体の加力試験が実施できることになりました。より実践的に、より広い視野から木造住宅を考えることができると思いますので、ご期待下さい。

木造住宅の造り手として、この時代に生きる当事者として考えてゆこうとする大工さんの参加を願っています。

第1回

2012年7月

講師：丹呉明恭・山辺豊彦

内容：7月14日（土）15：00～18：10

大工塾の経緯 / 大工塾の方針 / 九州大工塾の方針 / 渡り腰構法についての大工塾の取り組み

7月15日（日）9：00～14：30

木構造 / 構造実験の目的 / どこをどのように見るか / 過去の実験結果と学ぶこと

第2回

2012年8月

講師：丹呉明恭・山辺豊彦

内容：8月11日（土）15：00～18：10

8月12日（日）9：00～14：30

実大仕口の引張り試験（柱脚・継手）

第3回

2012年9月

講師：杉岡世邦・和田善行・丹呉明恭

内容：9月8日（土）15：00～18：10

杉について

9月9日（日）9：00～14：30

日本の住宅の状況 / 伏図軸組図作成法

第4回

2012年10月

講師：金田正夫・丹呉明恭

内容：10月13日（土）15：00～18：10

木造住宅の温熱環境

10月14日（日）9：00～14：30

SS試験演習 / SS試験のデータ整理 / 基礎設計法

第5回

2012年11月

講師：丹呉明恭・山辺豊彦

内容：11月10日（土）15：00～18：10

11月11日（日）9：00～14：30

実大耐力壁の水平加力試験（土塗り壁・筋違い・合板）

第6回

2012年12月

講師：丹呉明恭・山辺豊彦

内容：12月8日（土）15：00～18：10

実験結果についての解説 / 実験結果を取り入れた構造設計法

12月9日（日）9：00～14：30

木構造の耐震性能 / 壁量計算とN値計算 / 渡り腰構法の展開

※講義内容は変更になる場合があります。

お申し込み票

【大工塾事務局】 Fax: 04-2955-2655

フリガナ		フリガナ	
氏名		会社名	
生年月日	年 月 日	性別	男 女
住所	〒		
Tel		Fax	
携帯		Email	